

# 「新高値ブレイク投資塾」事例報告シート

お名前

塾生T

銘柄コード	5535	銘柄名	ミガロホールディングス		
買付日	6月3日打診買い3210円、6月7日追加買い4295円				
売却日	6月6日売り3715円、6月10日売り4700円・5250円、6月11日全売却 4500円				
利益or損失	利益	損益率	+61%~+70%	損益額(万円)	

## 売買の補足説明

【新高値チェックでビッグチェンジを見つける】

事業内容：投資用マンション開発。マンション顔認証サービスFreeIDが好調。5月28日新高値チェックでこの銘柄を見てビッグチェンジだと思った。2月顔認証で株価が上昇したエレメンツを投資した時にこの銘柄に気がつき調べていた。しかし、その時は魅力を感じなかったが3ヶ月の間に株価は2倍に！見落としがあると思って再調査。そして仮説を立てた！

ビッグチェンジ(仮説)：市場が5535に対して「業種」の水準訂正を起こしている。そのため「不動産業」→「情報通信業」へPERが8.3倍(2月)から約20倍(5月)へ変化しているのではないかと考えた。

【銘柄に関心をもった理由】

顔認証でドアが開閉できるマンションは高価格帯のマンションで人気があり、FreeID受注累計数3Q→4Qで55→86へ急増。成長率が高く将来性があると思った。

【目標株価】

水準訂正があるならば情報通信のPER平均値は30倍なので下記のイメージ。  
(2月時点)PER8倍1400円→PER30倍5130円※5月28日時点3395円。まだ上値あり！

【IR取材：確認したいこと】

A：強い商品か？～マンション顔認証で独占できる納得の理由はあるか？～

①顔認証オフィス型はレッドオーシャンだがマンション型はブルーオーシャンだと知った。例えばゴミ捨て場前の顔認証は外に設置されているため、光を制御する特殊なシステムが必要。5535のシステムであればこれが可能。NECなど顔認証大手でも可能だが高額。

他、詳細省くが多角度からDX開発の競争がすぐに参入するのは難しいと思った。  
②システム開発に時間がかかるため、やはり大手不動産会社もこのサービスを開発せず倍りることを選ぶと予測。参入障壁は高い。

B：5535は情報通信業への水準訂正を望んでいるか？～自分の思いこみではないか？～

IR「去年再上場した時に東証に情報通信業への登録を申請したがダメだった。」とのこと。

全身に雷が打たれた感覚。水準訂正が起こることを確信した。

【リスク】詳細省くがIR取材でファンダメンタルに問題点を見つけた。しかし普通気づかないだろう。モメンタムがつけばそのまま上昇すると判断した。相場は警戒モード、FOMC・日銀・メジャーSQを控えている。信用買い残10%なので、楽に勝たせてもらえる状況ではない。守りながら攻める戦略に方針決定。※売買の詳細は添付資料をご覧ください。

## 成功したと思う点

結果は・・・保有期間：8日 最大利益：63% 年率：2874% 全ロットに対する利益25%

- ・短期間で利益を増やすことができた。
- ・新高値チェックをしてビッグチェンジを理解できた。
- ・カタリストを推測できたため、的確なIR取材ができた。
- ・さくらインターネットなどの銘柄で3空を数回経験していたため、株価がどう動くかを予想しながら落ち着いて売買できた。

## 失敗したと思う点

- ・2月の段階でこの銘柄を把握していたがビッグチェンジを見落としてしまった。
- ・相場が悪いと思いあまりロットを入れることができなかった。経験を増やして10倍・20倍とロットを積めるようにしたい。

## フリーコメント

- ・新高値投資法にこだわって100万回キックしていたらやっと手応えを感じる事ができた。次は200万回キックするつもりで、ルーティーンを継続してブレイク銘柄を掴みたい。
- ・ちなみに売却後良いタイミングがあったので買い直したが微損で撤退。熱くなって追い回し、損失を重ねないようにと思ったがその後再度新高値。信じられないくらい上昇してしまった。
- ・さくらインターネットの時は2倍で撤退したがその後10倍になった。今回もそうなる可能性が0ではないので、継続ウオッチ。
- ・株は上手くなったと思ってもすぐに反省点が見つかる。なかなか上手くさせてもらえないから面白いと思った。